

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る共同研究 KDB データ分析結果報告

令和3年（2021年）3月作成

吹田市 福祉部 高齢福祉室
健康医療部 国民健康保険課
健康医療部 保健センター
大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻 総合ヘルスプロモーション科学講座

1 KDBデータ分析の目的

KDBシステム（国保データベースシステム）が保有する健診・医療・介護情報を突合し、地域の健康課題を抽出することを目的としてデータ分析を行いました。

2 分析にあたって

分析にあたっては KDB システムが保有するデータのみでなく、市ホームページで公開されている人口情報や、第8期吹田健やか年輪プラン（吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）に係る高齢者等の生活と健康に関する調査報告書や、国民健康・栄養調査のデータ等も参考にしています。

なお、KDB データは統計処理のために全て匿名化したうえで分析を行いました。

3 KDBが保有するデータ

吹田市国民健康保険 レセプトデータ
吹田市国保健診 健診データ
後期高齢者医療保険 レセプトデータ
後期高齢者医療健康診査 健診データ

4 分析結果の公開について

共同研究で 2019 年度に分析した結果を「見て分かりやすく」をモットーにまとめています。今後はこの公開データを保健事業や介護予防事業での教室・講演会、地域ケア会議等、様々な機会をとらえて活用し、市民や関係者の皆様とともに健康寿命の延伸に向けての活発な対話を行っていきたいと考えています。

また、高齢者フレイル等予防推進事業では、KDB データを毎年分析し、事業の企画・調整や評価に役立てていきます。

5 共同研究代表者

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
総合ヘルスプロモーション科学講座
教授 神出 計
特任准教授 樺山 舞

6 参考資料

- 第6期 吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
- 第7期 吹田健やか年輪プラン
（吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）
- 第8期 吹田健やか年輪プラン
（吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）
- 第8期 吹田健やか年輪プラン（吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）にかかると高齢者等の生活と健康に関する調査
- 国民健康・栄養調査

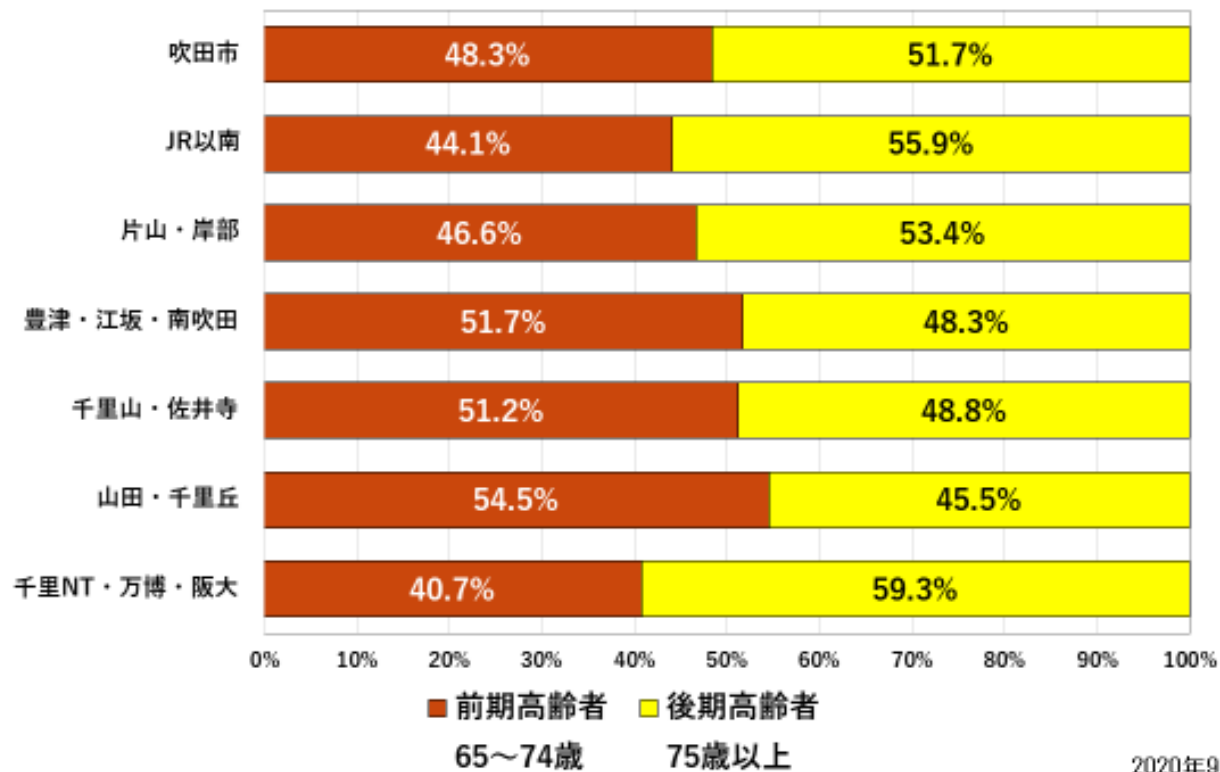
7 この資料に関する問合せ先

福祉部高齢福祉室 支援グループ
電話 06-6170-5860
FAX 06-6368-7348
メール kousien@city.suita.osaka.jp

目 次

- 1 圏域別前期高齢者・後期高齢者の割合
- 2 吹田市 高齢者人口の推移と推計
- 3 圏域別 高齢者人口の推移と推計
- 4 吹田市 年齢階級別高血圧・糖尿病・認知症の病名がある者の割合
- 5 男女別 年齢階級別高血圧・糖尿病・認知症の病名がある者の割合
- 6 高血圧・糖尿病の有無による他の疾患の関係
- 7 男女別 BMI 区分割合 (40 歳以上)
- 8 低栄養傾向の者 (BMI < 20) の割合 (65 歳以上、性・年齢階級別)
- 9 年齢階級別健康診断受診率 (2018 年度)
- 10 健診受診率と介護予防事業参加率
- 11 JR 以南地域の状況
- 12 片山・岸部地域の状況
- 13 豊津・江坂・南吹田地域の状況
- 14 千里山・佐井寺地域の状況
- 15 山田・千里丘地域の状況
- 16 千里ニュータウン・万博・阪大地域の状況
- 17 おわりに
- 18 用語説明

1 圏域別前期高齢者・後期高齢者の割合

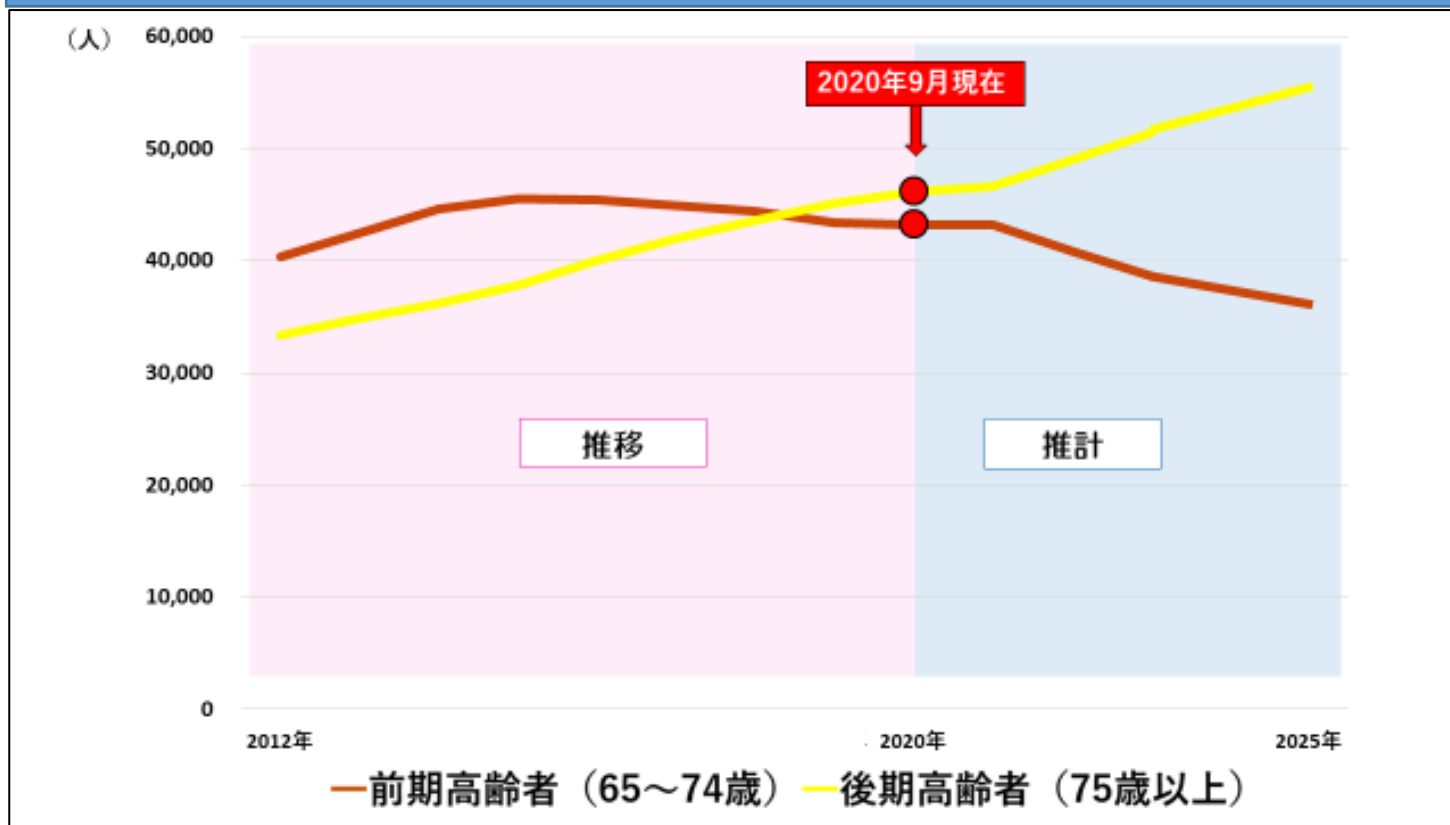


第8期吹田健やか年輪プラン
(吹田市高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画) から作成

圏域によって、前期高齢者、後期高齢者の構成比に差があります。

千里ニュータウン・万博・阪大が最も後期高齢者の割合が高く、山田・千里丘は後期高齢者の割合が低い状況です。

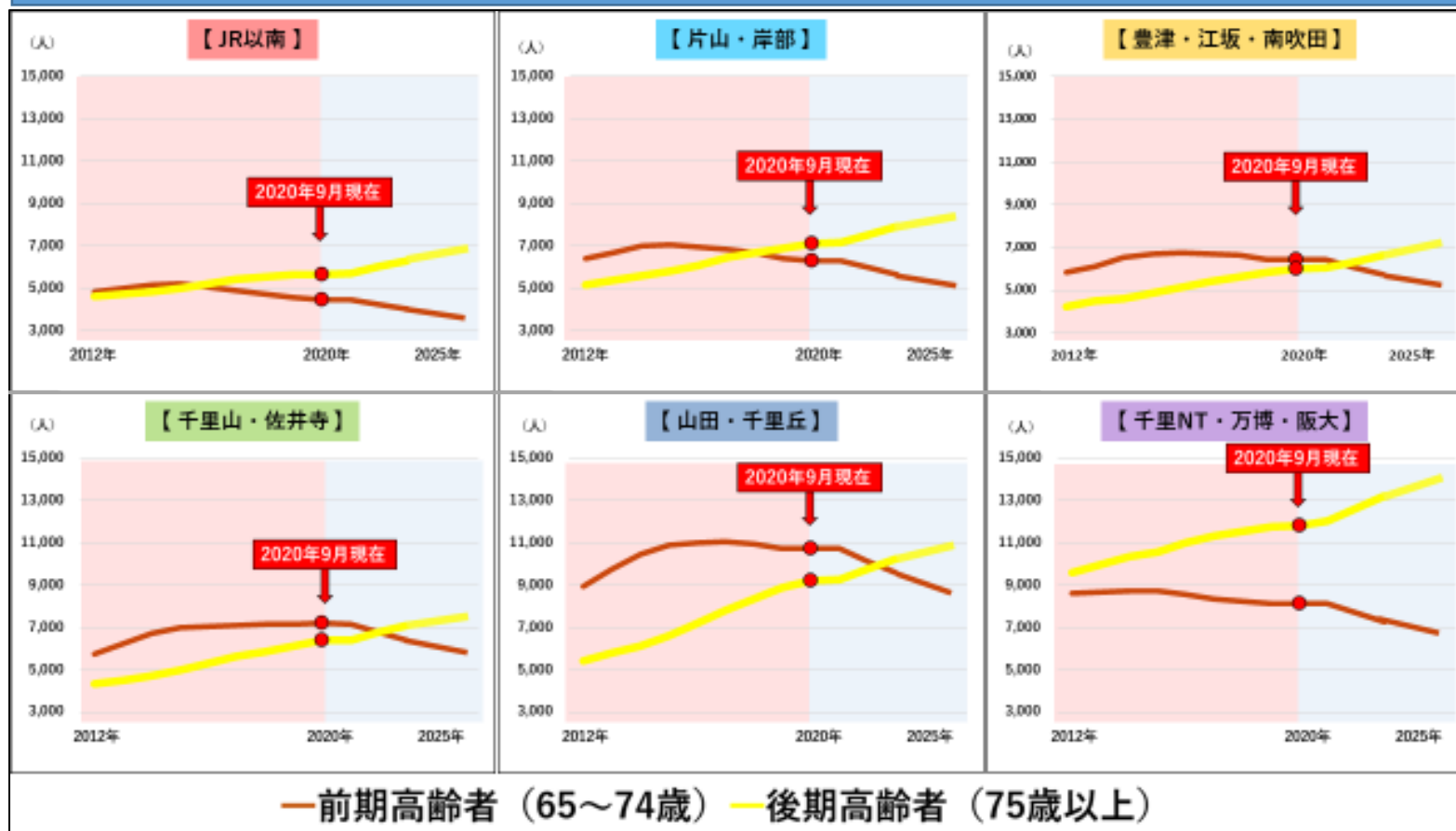
2 吹田市 高齢者人口の推移と推計



第6期、7期、8期 吹田健やか年輪プラン（吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）から作成

日本では高齢化が加速しており、人生100年時代が到来すると言われています。吹田市も例外ではなく、高齢化が加速しています。今後は65~74歳の前期高齢者人口は減少し、75歳以上の後期高齢者人口が増加します。

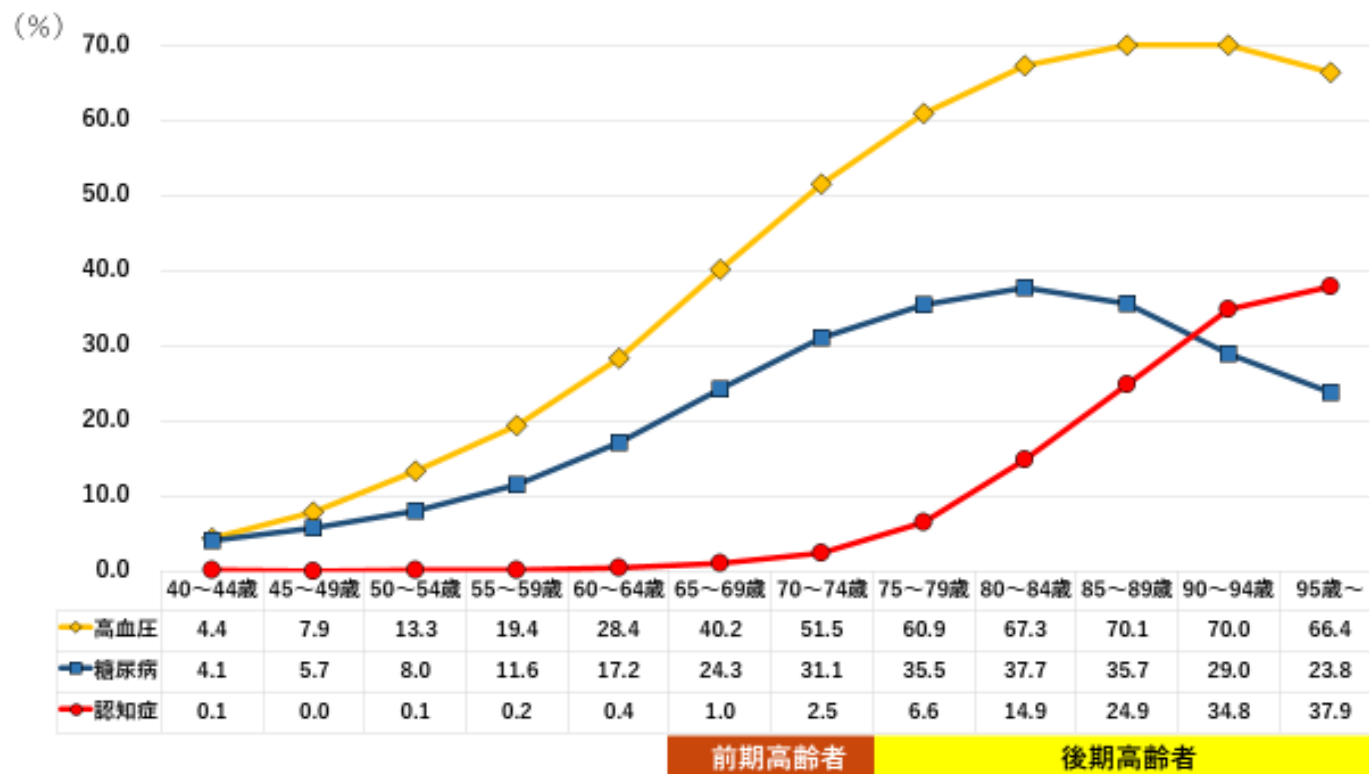
3 圏域別 高齢者人口の推移と推計



第6期、7期、8期 吹田
健やか年輪プラン(吹田市
高齢者保健福祉計画・介護
保険事業計画) から作成

各圏域の高齢者人口は異なっており、今後の前期高齢者、後期高齢者人口の伸び方も異なっています。

4 吹田市 年齢階級別高血圧・糖尿病・認知症の病名がある者の割合



KDB が保有するレセプトデータから作成

年齢別の高血圧、糖尿病、認知症を持つ人の割合を示しています。

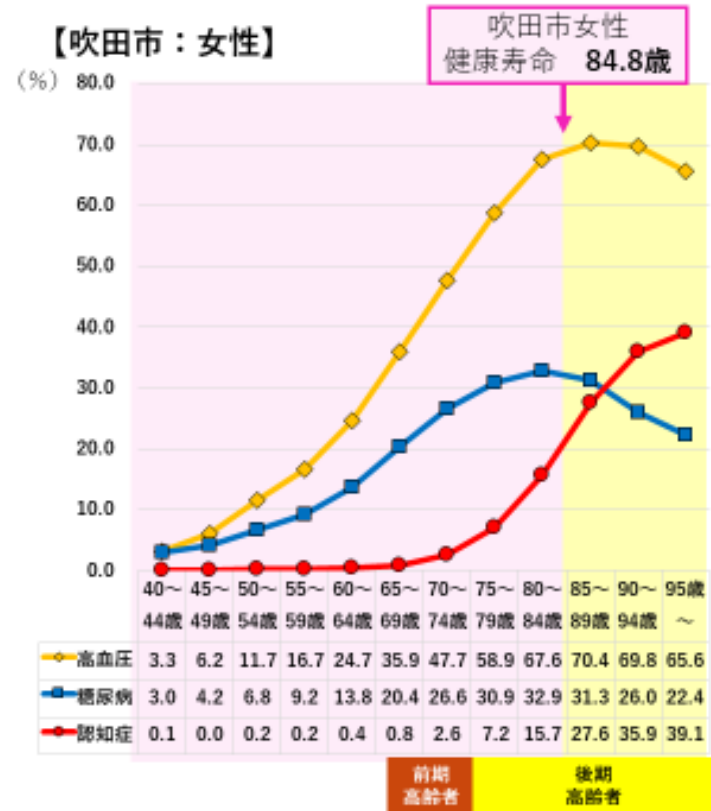
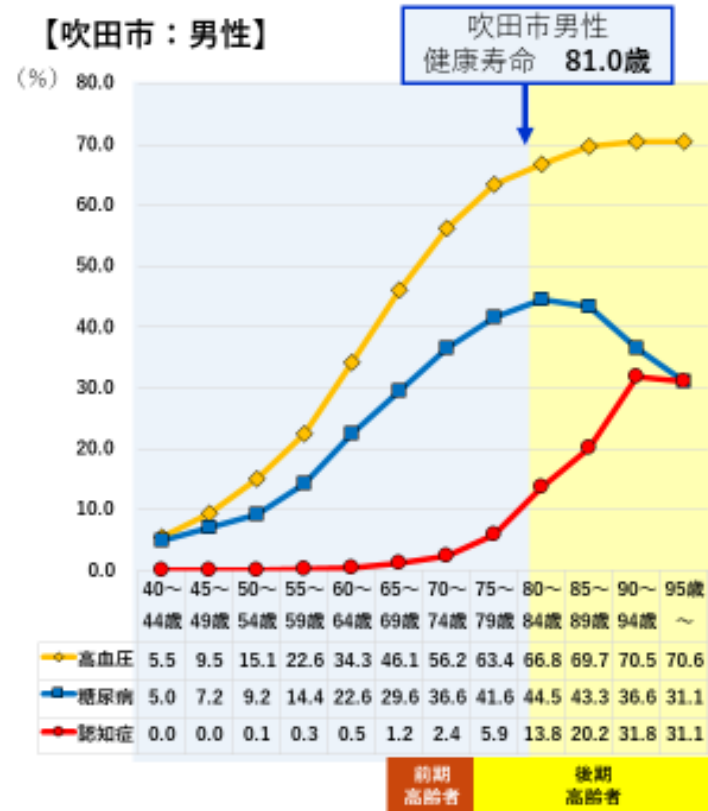
高血圧、糖尿病という代表的な生活習慣病が40歳を過ぎると増えるのがわかります。

高血圧は最も頻度の多い疾患であり、80歳以降は約70%の人が罹患し、ピークは85～90歳です。

糖尿病は80歳がピークであり、それ以降割合が減少します

認知症は75歳、後期高齢期以降に増えてきます。

5 男女別 年齢階級別高血圧・糖尿病・認知症の病名がある者の割合



KDB が保有するレセプトデータから作成

性別、年齢別の高血圧、糖尿病、認知症を持つ人の割合吹田市の健康寿命とあわせて示しています。

男女とも高血圧、糖尿病が40歳を過ぎると増えるのがわかります。男性の方が糖尿病にかかる方の割合は高い状況です。

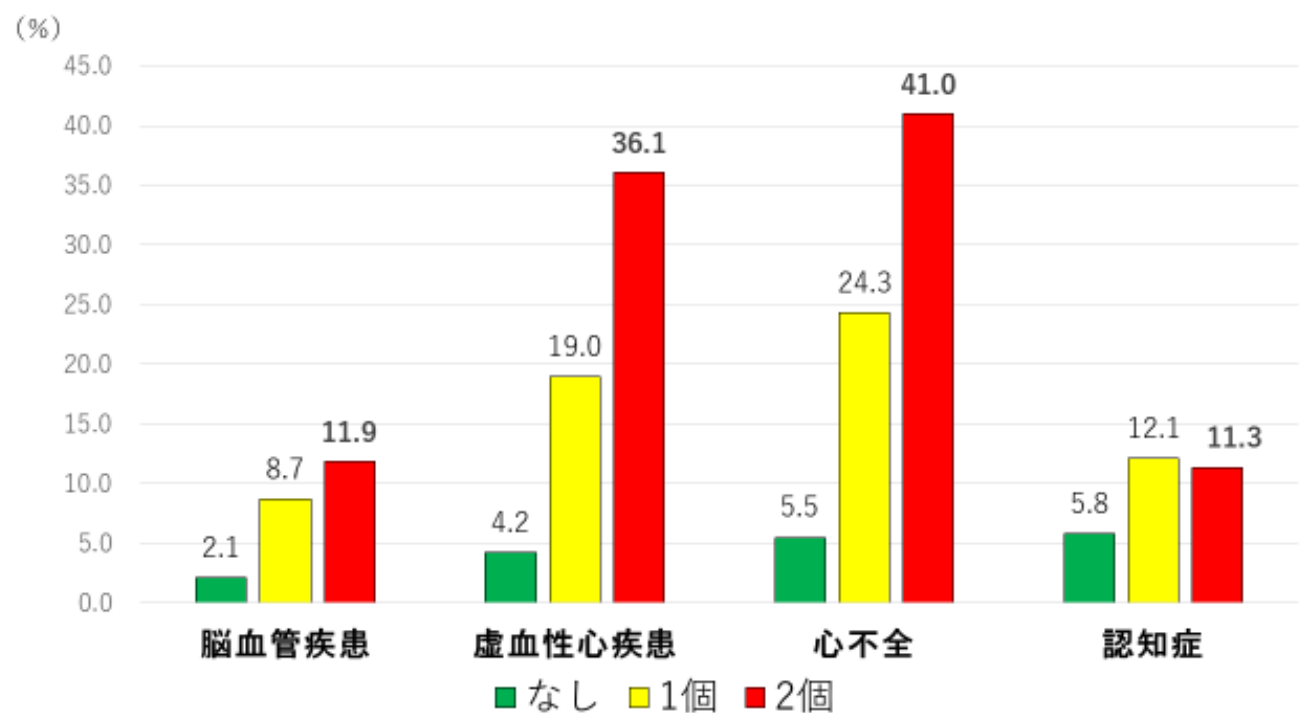
高血圧は最も頻度の多い疾患であり、男女とも80歳以降は約70%の人が罹患します。

糖尿病は男女ともに80歳がピークであり、それ以降割合が減少します。

認知症は75歳、後期高齢期以降に増えてきます。

6 高血圧・糖尿病の有無による他の疾患の関係

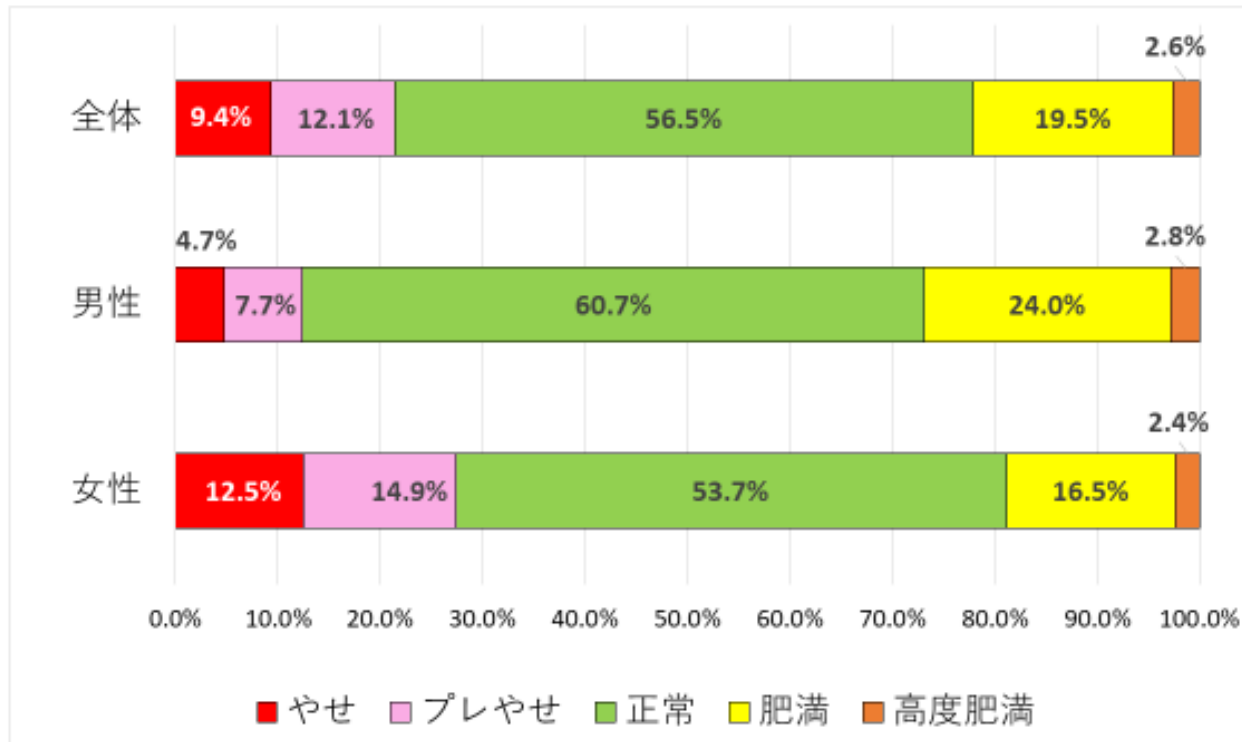
KDB が保有するレセプトデータから作成



健康寿命を脅かす「脳血管疾患」「狭心症・心筋梗塞などの虚血性心疾患」「心不全」「認知症」と、代表的な生活習慣病である高血圧・糖尿病の関係を示しています。

脳血管疾患、虚血性心疾患、心不全ではそれぞれのリスクである高血圧、糖尿病がいずれかあれば疾患発症につながり、2つともあれば約1.5~2倍発症が多くなります。認知症は高血圧、糖尿病いずれかの生活習慣病があると発症しやすいことがわかります。

7 男女別 BMI 区分割合（40 歳以上）



KDB が保有する吹田市国保健康診査、
後期高齢者医療健康診査結果から作成

【用語説明】

やせ : BMI 18.5 未満

プレやせ : BMI 18.5 以上、20.0 未満

正常 : BMI 20.0 以上、25.0 未満

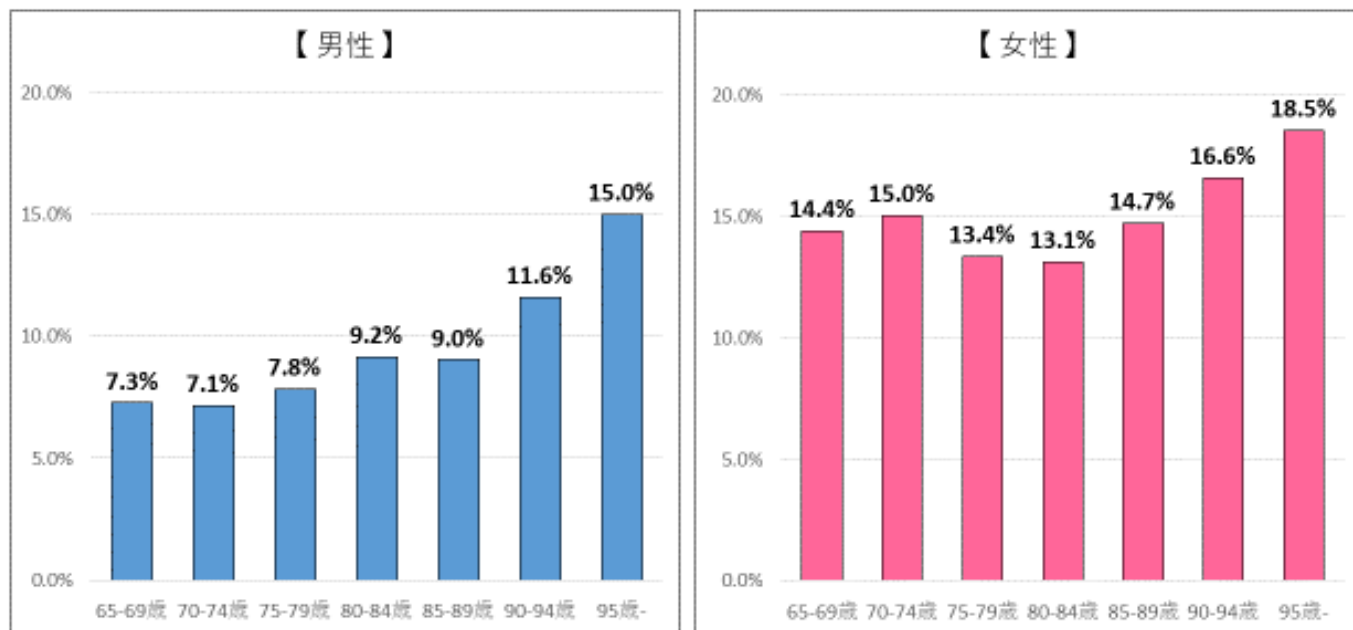
肥満 : BMI 25.0 以上、30.0 未満

高度肥満 : BMI 30.0 以上

男性では肥満が女性より多く、逆に女性ではやせ・プレやせが男性より多く見られます。

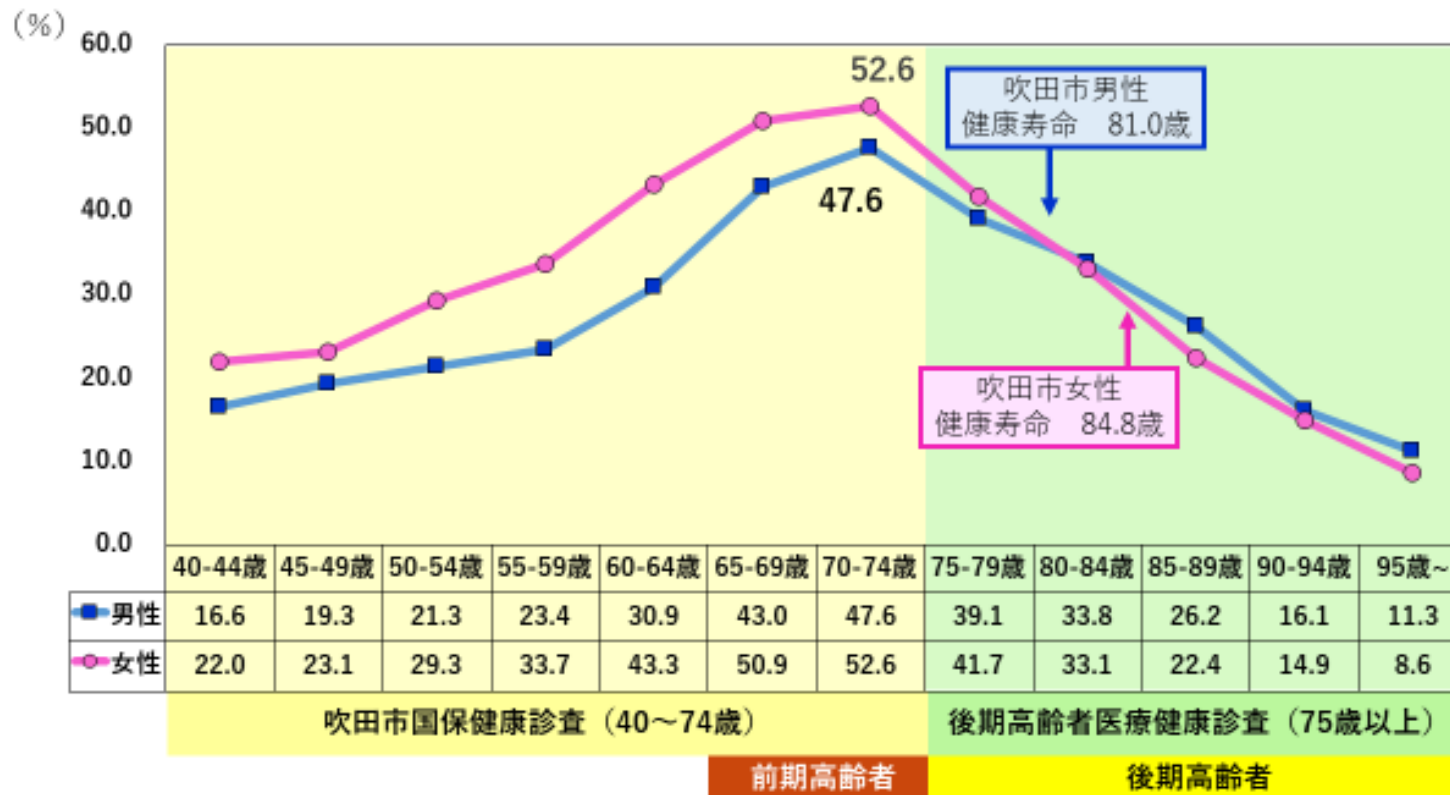
8 低栄養傾向の者(BMI<20)の割合 (65歳以上、性・年齢階級別)

KDB が保有する吹田市国保健康診査、
後期高齢者医療健康診査結果から作成



BMI 20 未満である低栄養者の割合は、女性で高く、男女ともに特に 90 歳以降増加が著しいため、超高齢期以降に低栄養状態に陥らないよう注意が必要です。

9 年齢階級別健康診断受診率(2018年度)



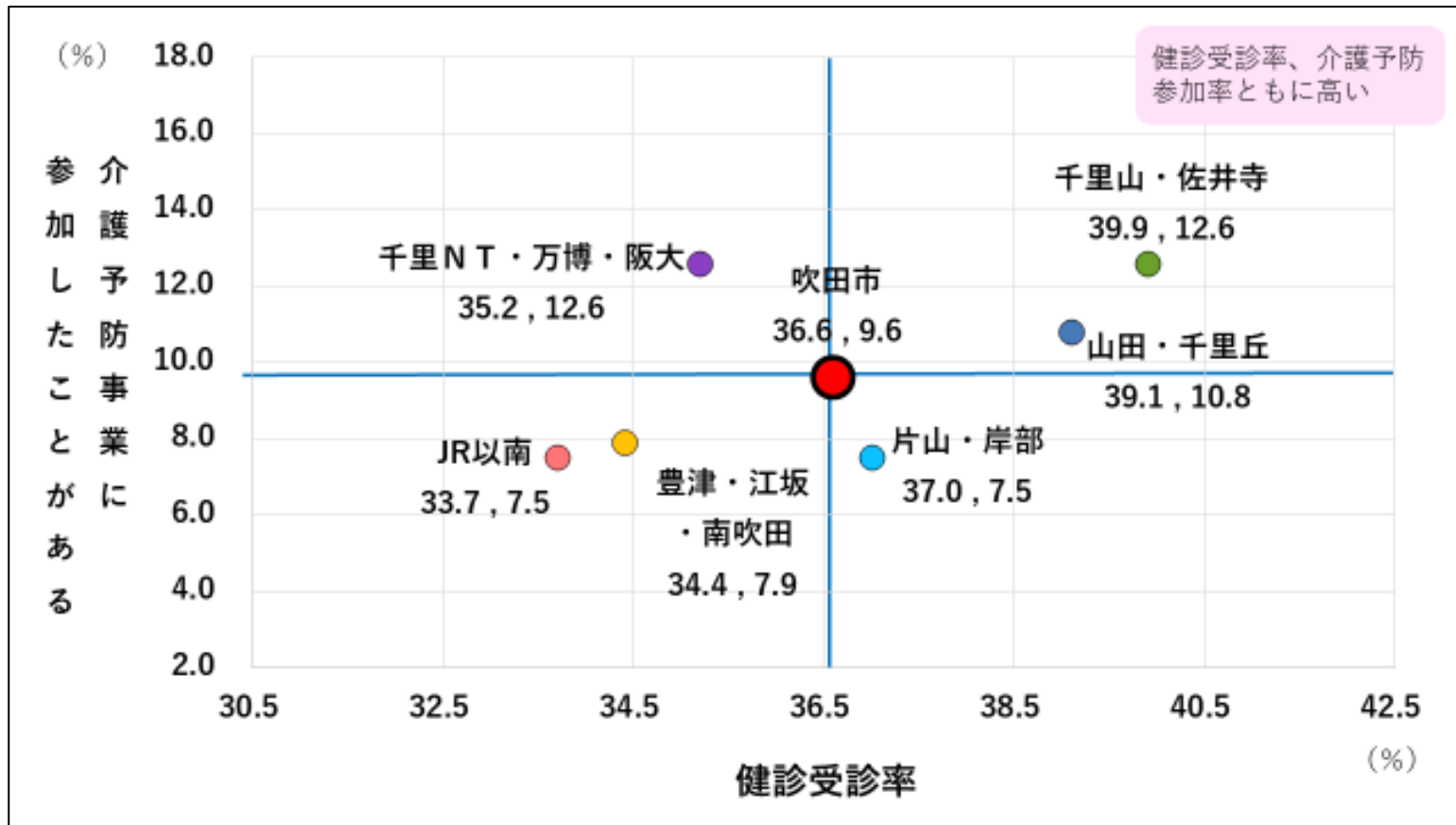
KDB が保有する吹田市国保健康診査、後期高齢者医療健康診査結果から作成

健康寿命は第8期吹田健やか年輪プラン (吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画) より

前期高齢者までは女性の方が健診受診率が高い状況ですが、後期高齢者医療健康診査受診は年々下がり 80 歳を超えると男性の方が受診率が女性より高くなっています。

おそらく後期高齢者になって受診率が下がるのは、病気を発症して普段から病院受診をする方が多いからではないかと思われます。

10 健診受診率と介護予防事業参加率

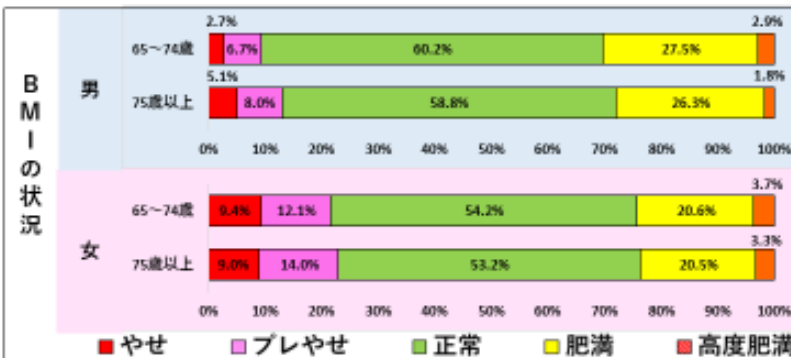
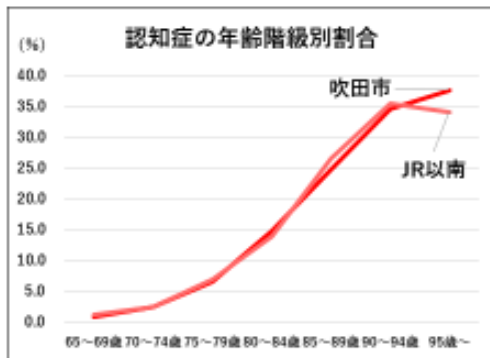
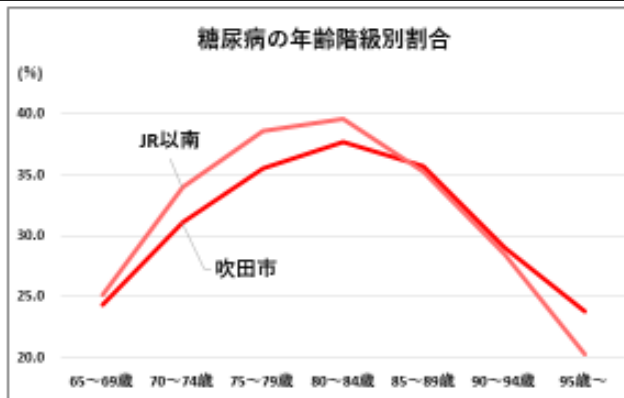
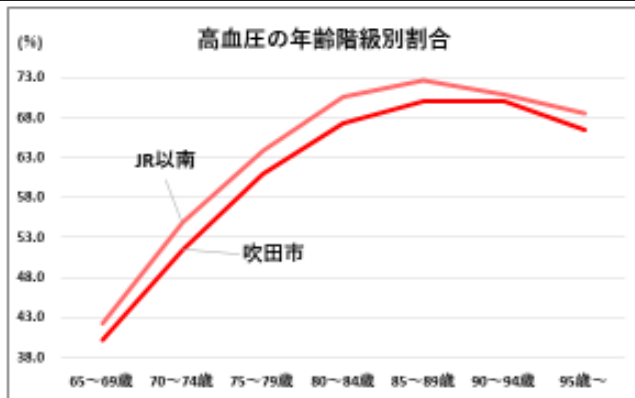


健診受診率はKDBが保有する吹田市国保健康診査、後期高齢者医療健康診査結果から、介護予防事業参加率は第8期吹田健やか年輪プラン（吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）にかかる高齢者等の生活と健康に関する調査から作成

各圏域の健診受診率と介護予防事業に参加したことがある方の割合を示しています。

健診受診率が高い圏域は、介護予防に参加したことがある人の割合も高い傾向にあります。

11 JR以南地域の状況



40歳以上健診受診率 ※1	33.7 %
介護予防事業に参加している人の割合 ※2	7.5 %
いきいき百歳体操グループ数 ※3	14 グループ
いきいき百歳体操参加人数 ※4	283 人
ひろばde体操実施箇所数 ※3	2 箇所

※1 2018年度

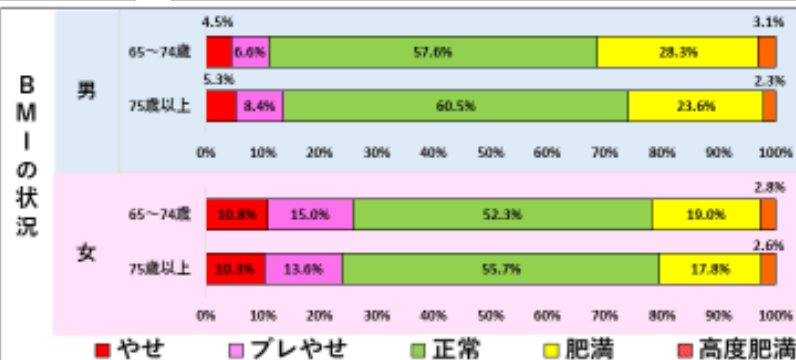
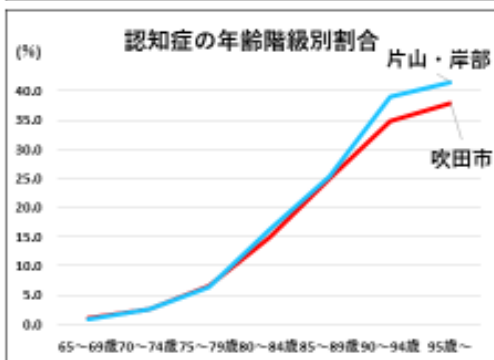
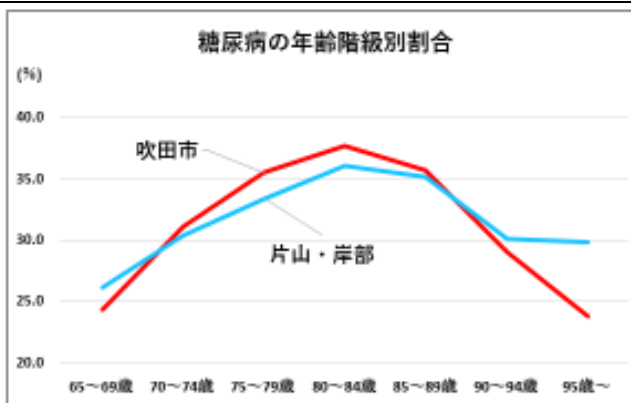
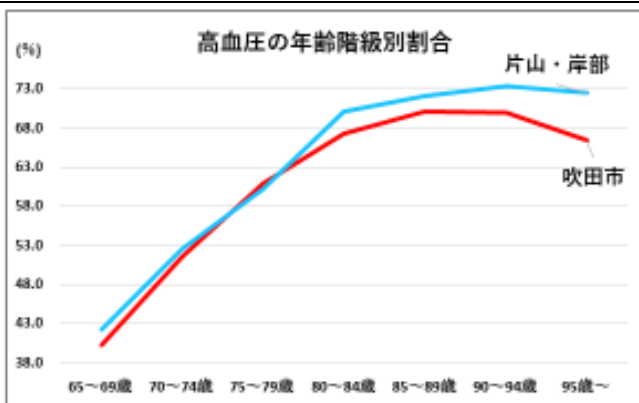
※2 第8期吹田健やか年輪プランにかかる高齢者等の生活と健康に関する実態調査

※3 2021年2月末現在

※4 2020年度 福祉部高齢福祉室作成

- ◎ 高齢期以降、高血圧、糖尿病を持つ人の割合が吹田市全体より多くなっています。
- ◎ 健診の受診率も低いようですので、しっかり健診を受けてできるだけこれらの生活習慣病にならないよう心がけることが大切です。

12 片山・岸部地域の状況



40歳以上健診受診率 ※1	37.0 %
介護予防事業に参加している人の割合 ※2	7.5 %
いきいき百歳体操グループ数 ※3	21 グループ
いきいき百歳体操参加人数 ※4	359 人
ひろばde体操実施箇所数 ※3	2 箇所

※1 2018年度

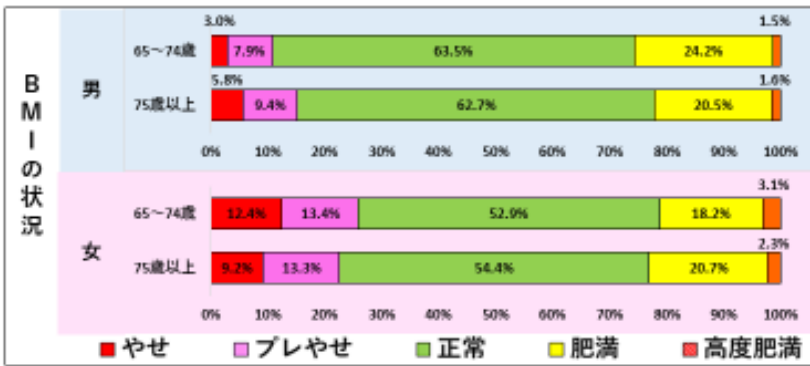
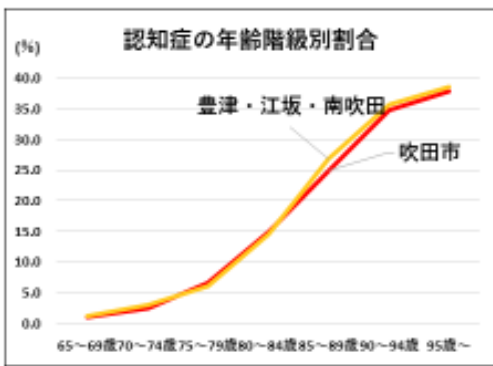
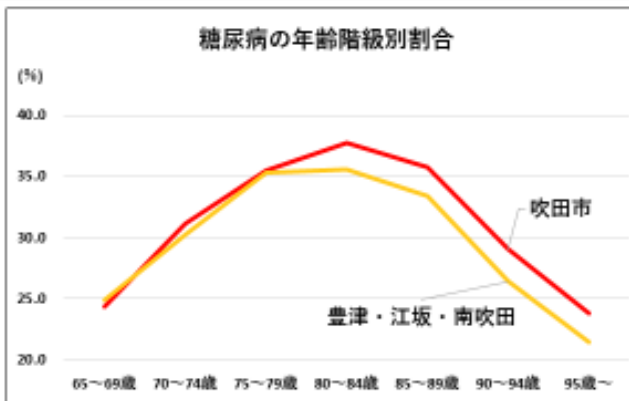
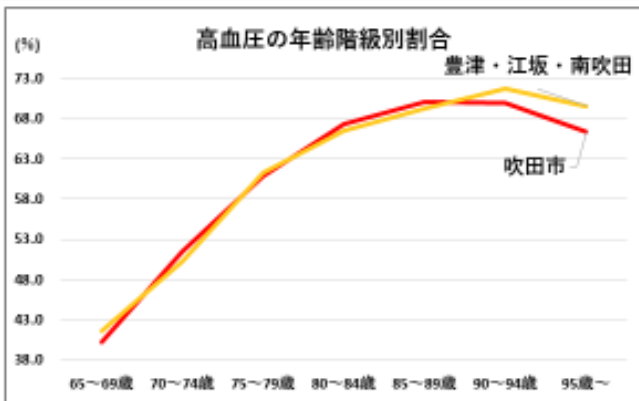
※2 第8期吹田健やか年輪プランにかかる高齢者等の生活と健康に関する実態調査

※3 2021年2月末現在

※4 2020年度 福祉部高齢福祉室作成

- ◎ 高血圧、糖尿病とも65歳から74歳まで吹田市全体より多い傾向が見られます。
- ◎ また高血圧は80歳以降、吹田市全体より多い傾向が見られます。
- ◎ しっかり健診を受けてできるだけこれらの生活習慣病にならないよう心がけることが大切です。

13 豊津・江坂・南吹田地域の状況

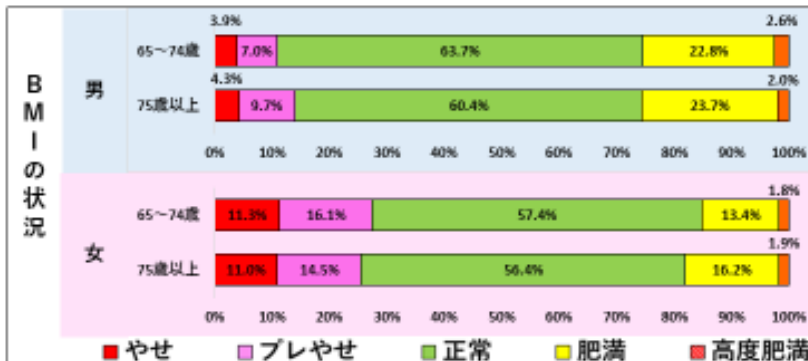
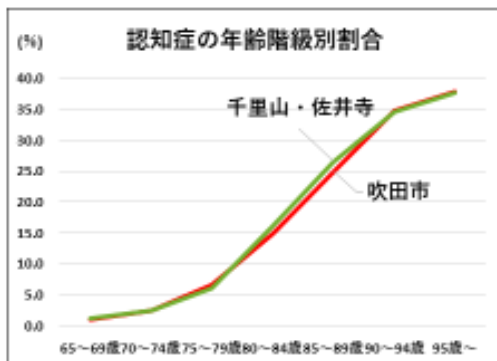
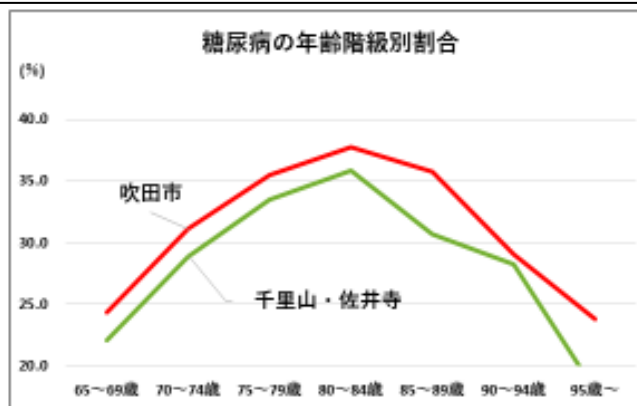
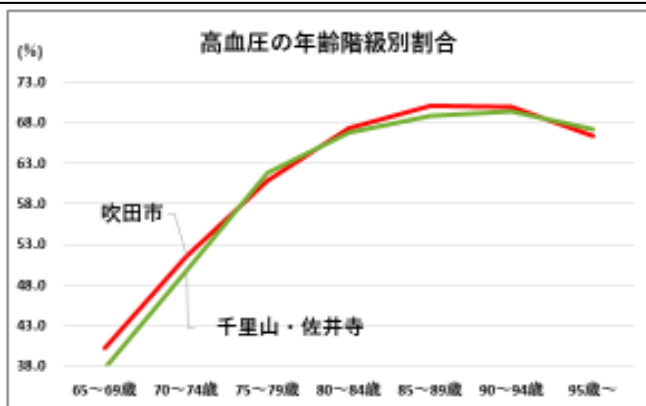


40歳以上健診受診率 ※1	34.4 %
介護予防事業に参加している人の割合 ※2	7.9 %
いきいき百歳体操グループ数 ※3	14 グループ
いきいき百歳体操参加人数 ※4	229 人
ひろばde体操実施箇所数 ※3	2 箇所

※1 2018年度
 ※2 第8期吹田健やか年輪プランにかかる高齢者等の生活と健康に関する実態調査
 ※3 2021年2月末現在
 ※4 2020年度 福祉部高齢福祉室作成

- ◎ 75歳以降、糖尿病の割合は吹田市全体より低い傾向があります。
- ◎ 65歳～69歳ではやや吹田市全体より糖尿病の割合が高いため、注意が必要です。
- ◎ 健診の受診率も低いようですので、しっかり健診を受けてできるだけこれらの生活習慣病にならないよう心がけることが大切です。

14 千里山・佐井寺地域の状況

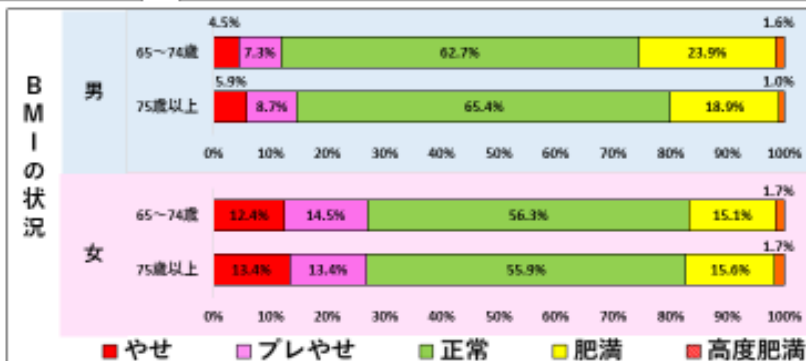
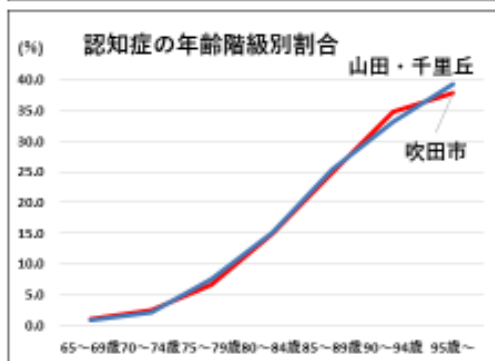
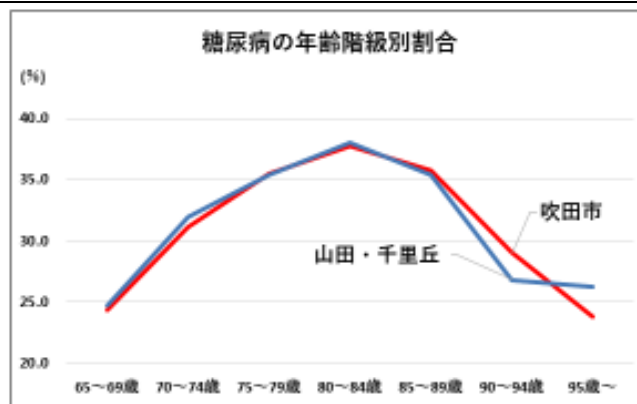
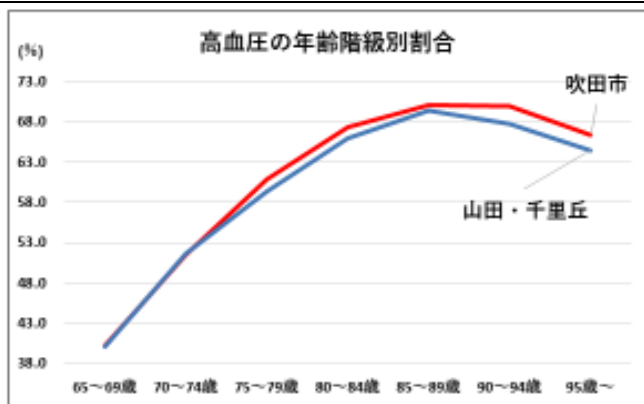


40歳以上健診受診率 ※1	39.9 %
介護予防事業に参加している人の割合 ※2	12.6 %
いきいき百歳体操グループ数 ※3	26 グループ
いきいき百歳体操参加人数 ※4	307 人
ひろばde体操実施箇所数 ※3	2 箇所

※1 2018年度
 ※2 第8期吹田健やか年輪プランにかかる高齢者等の生活と健康に関する実態調査
 ※3 2021年2月末現在
 ※4 2020年度 福祉部高齢福祉室作成

- ◎ 糖尿病は吹田市全体の割合より低い傾向が見られます。
- ◎ 健診受診率が最も高く、糖尿病になる前に予防ができていない人が多いと思われる。
- ◎ 引き続きしっかりと健診を受けて生活習慣病等の予防を心がけることが大切です。

15 山田・千里丘地域の状況



40歳以上健診受診率 ※1	39.1 %
介護予防事業に参加している人の割合 ※2	10.8 %
いきいき百歳体操グループ数 ※3	42 グループ
いきいき百歳体操参加人数 ※4	661 人
ひろばde体操実施箇所数 ※3	3 箇所

※1 2018年度

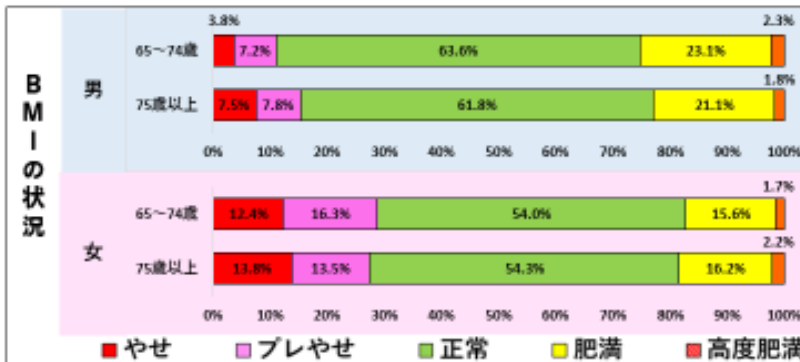
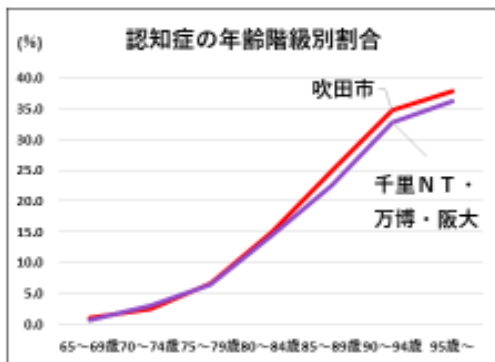
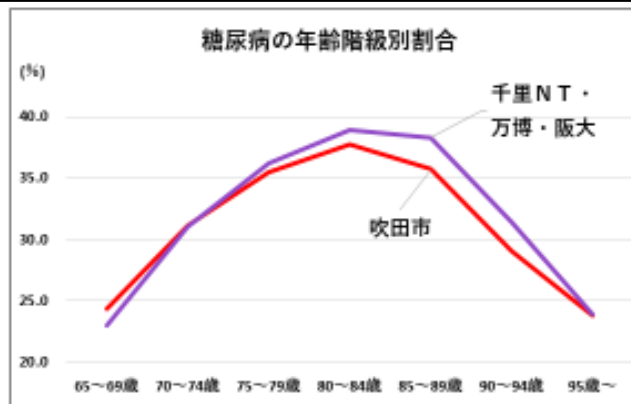
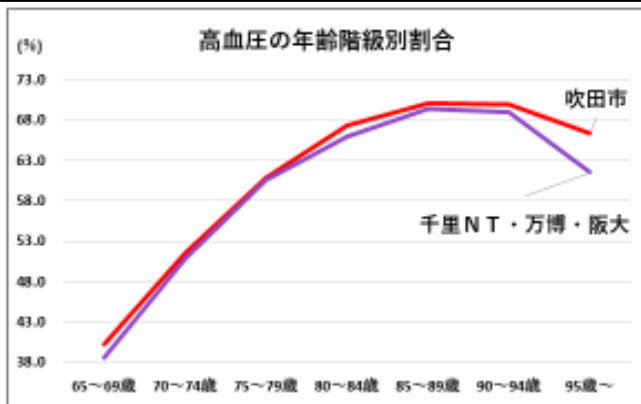
※2 第8期吹田健やか年輪プランにかかる高齢者等の生活と健康に関する実態調査

※3 2021年2月末現在

※4 2020年度 福祉部高齢福祉室作成

- ◎ 高血圧が75歳以降、吹田市全体より低い傾向を認めます。
- ◎ 糖尿病は吹田市全体と変わらないため、少しでも糖尿病を減らすよう留意する必要があります。

16 千里ニュータウン・万博・阪大地域の状況



40歳以上健診受診率 ※1	35.2 %
介護予防事業に参加している人の割合 ※2	12.6 %
いきいき百歳体操グループ数 ※3	38 グループ
いきいき百歳体操参加人数 ※4	527 人
ひろばde体操実施箇所数 ※3	3 箇所

※1 2018年度

※2 第8期吹田健やか年輪プランにかかる高齢者等の生活と健康に関する実態調査

※3 2021年2月末現在

※4 2020年度 福祉部高齢福祉室作成

- ◎ 75歳以降、糖尿病の割合は吹田市全体より高い傾向があります。
- ◎ 後期高齢期以降、特に糖尿病の発症に気をつける必要があります。

17 おわりに

現在の高齢者においては、10～20年前と比較して、加齢に伴う身体機能・認知機能の低下が5～10年遅延しており、「若返り」現象がみられます（※）。

年齢を重ね、後期高齢者になっても「いきいき・はつらつ」と地域で活躍する地域づくりを、保健事業と介護予防の一体的実施を通して目指す必要があります。

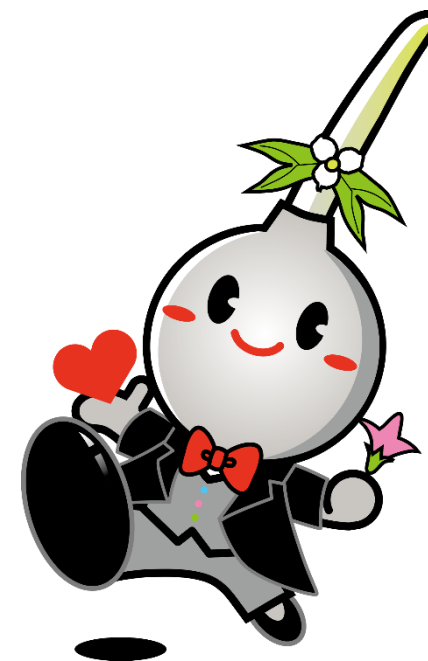
後期高齢者となる75歳から、介護認定を受ける方の割合が高くなります。前期高齢者のうちから健康づくりや介護予防に取り組む環境づくりが重要です。また、後期高齢者の多い圏域では、フレイルを早期発見し、生活習慣病の重症化予防とあわせてフレイル予防に積極的に取り組む必要があります。

後期高齢者医療健康診査ではフレイル健診として、フレイル（加齢に伴う心身の衰え）についてチェックできるようになっています。何らかの疾患で病院を受診していても、できるだけ健診を受けるよう心がけることが大切です。

また、高血圧、糖尿病は脳血管疾患、心疾患、認知症のリスクであり、さらにこれらの生活習慣病が重なることは健康寿命を脅かす脳血管疾患、心疾患の発症を増やします。これらの生活習慣病の予防ならびに管理が、健康寿命延伸のためには重要です。

今回の分析で、圏域によって状況が異なることが分かりました。今後、健康づくりや介護予防をどのように展開していくか、各圏域の実情に合わせて、高齢者を含めた市民の皆さんや、地域の関係機関などと対話を重ねながら取り組む必要があると考えています。

※ 第2回「人生100年時代に向けた高年齢労働者の安全と健康に関する有識者会議資料3高齢者の身体機能等の現状から



吹田市イメージキャラクターすいたん
吹田市制施行80周年

18 用語説明

BMI (Body Mass Index)

体重と身長の関係から算出される、ヒトの肥満度を表す体格指数。
計算式は 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)

KDB

国保データベースシステム。国民健康保険の保険者や後期高齢者医療広域連合が、保健事業の計画や実施を行うために、「健診・保健指導」、「医療」、「介護」の各種データを活用して、統計情報や個人の健康に関するデータを作成するシステム。国民健康保険中央会が開発。

圏域

日常生活圏域のこと。平成 18 年度 (2006 年度) の介護保険制度改正により、高齢者が住み慣れた地域でサービスが利用できるよう、第 3 期計画 (2006-2008) から地理的条件、人口、交通事情その他社会的条件を総合的に勘案して「日常生活圏域」が設定されている。

健康寿命

世界保健機関 (WHO) が 2000 年に提唱した指標で、「健康日本 21 (第 2 次計画)」では「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定められている。

前期高齢者

65~74 歳の人。

後期高齢者

75 歳以上の人。

後期高齢者医療健康診査

後期高齢者医療被保険者を対象に無料で実施されている健康診査。糖尿病や高血圧等の生活習慣病に加え、加齢に伴う心身の衰え (フレイル) 等のチェックをする。

吹田市国保健康診査

吹田市国民健康保険被保険者で、今年度の誕生日で 40 歳から 74 歳になる人を対象に、メタボリックシンドロームに着目した健康診査を無料で実施している。

フレイル

年齢とともに心身の活力 (筋力や認知機能など) が低下して、要介護状態に近づくこと。対策をとれば、健康な状態に戻ることも可能。

【吹田市日常生活圏域】

